

## 第3章 プログラムの内容

### 1. プログラムの基本構想と目的

農業は「ア」国の基幹産業であるにもかかわらず、生産性が非常に低く、国内政治情勢の影響を受けた社会経済体制の転換期にあつて、灌漑施設の老朽化、農業資機材の不足など多くの問題を抱えており、我が国の食糧増産援助（2KR）による資機材調達は主要食糧の生産性改善に大きく貢献するものと思われる。また、欧米諸国との歩み寄りの中で多くの援助が実施されており、より一層の農業開発が期待される。

### 2. プログラムの実施運営体制

実施の各ステージにおける責任機関と責任者は以下のとおりである。

実施ステージ	機関名	役職
要請窓口	農業食糧省	大臣
総合実施責任者	農業食糧省・2KR課	課長
要望調査票作成	農業食糧省・農業計画局	局長
入札実施	農業食糧省	大臣
配布監督	農業食糧省・2KR課	課長
見返資金積立・管理	アルバニア貯蓄銀行	頭取
銀行取極め締結機関	アルバニア貯蓄銀行	頭取
監督部局	大蔵省	大臣
支払い授權書発給機関	農業食糧省	大臣
監督部局	大蔵省	大臣

表3-1 実施責任機関

（出典：平成13年度要請書）

### 3. 対象地域の概要

本計画の対象地域は、食糧生産の中心地であり元々は高い生産力が望める土地でありながら、肥料や農業機械の不足によって生産量が低いため、それら不足している農業資機材を投入すれば増産が期待できる地域（ティラナ、ディベル、ジロカステルの各県、コロニヤ、ポグラデク、クコーベ、グラムシュ、リブラード、ミリディテ、マレシュ・マデ、プーケ、トロポヤ、ハスの各地区の計13州）である。

土壌的には特に海岸沿い地域の平地と中央部の台地が肥沃で、丘陵と山岳部の土壌は酸性である。

次頁表3-2に作物別の対象農家戸数、本計画実施前と実施後の生産量の比較（予測値）を示す。なお、前述の対象地域13州では、小麦、トウモロコシ、ジャガイモ及び野菜（自家消費用）のすべての作物を生産している。

表3-2 作物別農家戸数および生産量の増加見込み

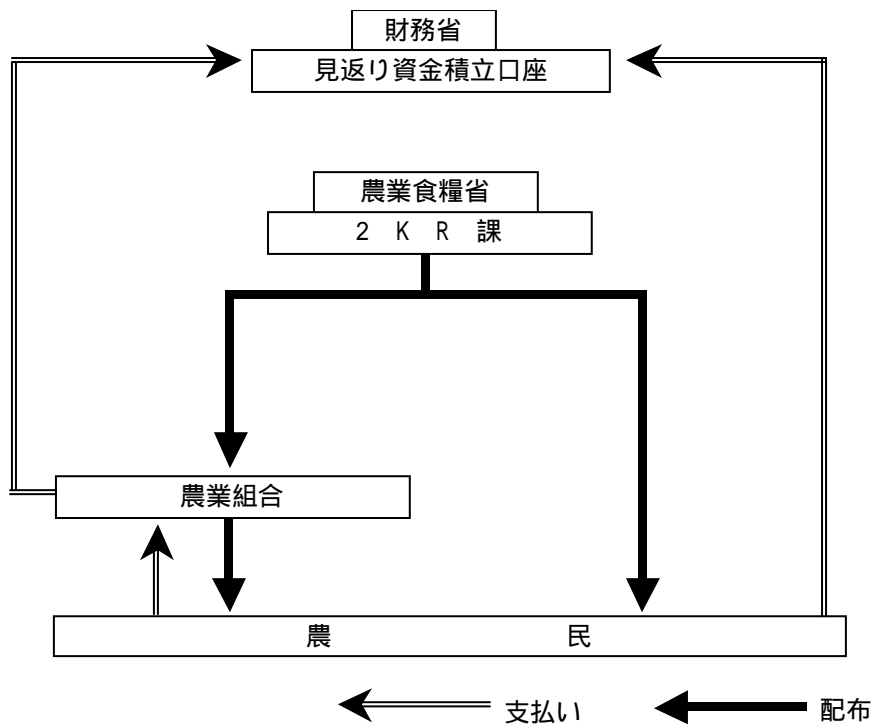
	対象地域	農家戸数		対象面積 (ha)	単収 (t/ha)	総収穫量 (t)
小麦	テイラナ、ディハール、シロカステル県、コロニヤ、ホグラデク、クコーベ、グラムシュ、リブラード、ミリディテ、マレシュ・マデ、ブーケ、トロホヤ、ハス地区	100,000	実施前	28,000	2.16	60,504
			実施後	30,000	2.36	70,650
トウモロコシ	テイラナ、ディハール、シロカステル県、コロニヤ、ホグラデク、クコーベ、グラムシュ、リブラード、ミリディテ、マレシュ・マデ、ブーケ、トロホヤ、ハス地区	140,000	実施前	22,000	2.87	63,106
			実施後	28,000	3.51	98,230
野菜 (自家消費用)	テイラナ、ディハール、シロカステル県、コロニヤ、ホグラデク、クコーベ、グラムシュ、リブラード、ミリディテ、マレシュ・マデ、ブーケ、トロホヤ、ハス地区	288,000	実施前	9,393	17.52	164,530
			実施後	16,000	19.34	309,400
ジャガイモ	テイラナ、ディハール、シロカステル県、コロニヤ、ホグラデク、クコーベ、グラムシュ、リブラード、ミリディテ、マレシュ・マデ、ブーケ、トロホヤ、ハス地区	100,000	実施前	4,281	14.81	63,419
			実施後	7,000	15.44	108,060

(出典：平成13年度要請書)

## 4. 資機材選定計画

### 4-1 配布 / 利用計画

本計画にて調達される資機材は、次頁図3-1に示すように、農業食糧省が2KR課を通して、オークションを行い、肥料は農業組合に、農業機械は農民に販売する。農業機械については、分割払いによる支払いも可能で、その場合は10%の前払いが条件となる。また、農業機械化センターは農業機械の購入資金を持たない農民に対して賃耕サービスを実施している。



(出典：平成13度要請書)

図3-1 配布及び支払い経路

品目別の配布計画を表3-3及び次頁表3-4に示す。肥料は、ジャガイモを除く対象作物に、農業機械は全ての対象作物に使用する計画である。

対象作物	小麦	トウモロコシ	野菜 (自家消費用)
配布地域	ティラナ、ディベル、ジロカステル県、コロニヤ、ボグラデク、クコーベ、グラムシュ、リブラード、ミリディテ、マレシュ・マデ、プーケ、トロポヤ、ハス地区		
対象面積	30,000 ha	28,000 ha	16,000 ha
施肥量	300kg/ha/作	400kg/ha/作	300kg/ha/作
作付回数	1作/年	2作/年	1作/年
必要肥料量 × ×	9,000 tons	22,400 tons	4,800 tons
合計			36,200 tons
要請数量			1,000 tons

表3-3 肥料配布計画

(出典：平成13度要請書)

表3-4 農業機械配布計画

対象地域	ティラナ、ディベル	コロニヤ、ボグラデ、クコーベ、グラムシュ、リブラード、ミリディテ、マレシュ・マデ、プーケ、トロボヤ、ハス地区	ジロカステル県	
対象作物	小麦、トウモロコシ、野菜、ジャガイモ	小麦、トウモロコシ、野菜、ジャガイモ	小麦、トウモロコシ、野菜、ジャガイモ	
対象面積	57,000 ha	48,000 ha	20,000 ha	
エンドユーザー	農家及び農機ディーラー（スぺアパーツのみ）	農家及び農機ディーラー（スぺアパーツのみ）	農家及び農機ディーラー（スぺアパーツのみ）	
配布台数	乗用トラクター	140台	120台	50台
	ホムブラウ	135台	115台	50台
	ロータリーティラー	100台	60台	40台
	ディスクハロー	90台	75台	35台
	灌漑ポンプ	20台	15台	5台
	トレーラー	20台	15台	5台
	コンバイン・ハーベスター	4台	2台	1台
配布方法	販売	販売	販売	

（出典：平成13年度要請書）

#### 4-2 維持管理計画 / 体制

農業機械化のための諸事業として、表3-5のような各担当機関が農業機械化及び保守管理に努めている。

表3-5 維持管理体制

	担当機関/部署	事業内容
農業機械普及	農業食糧省2KR課/農業食糧局（各地区）	各地区の農業食糧局と連携しながら、農業機械化のための方策を指示 農業機械化協会に対し、的確かつ迅速に必要な物資の配布を指示 毎年農業機械化協会と協力して、農業機械の購入者に対する研修を実施
スぺアパーツの 保管・管理・供給	農業食糧省2KR課/農業機械化協会支部	中央国営倉庫から農業機械化協会のディーラーへのスぺアパーツの供給と管理 各ディーラーは2KR課の承認を得てエンドユーザーにスぺアパーツを供給
保守整備	農業機械化協会（中央、各地区）	契約ベースでエンドユーザーの必要に応じて各ディーラーは保守・整備を実施

（出典：平成13年度要請書）

また、「ア」国内では農業機械を製造していないが、修理機関網及び海外メーカーの代理店は若干存在している。取り扱われているのは主にトラクターとコンバインで、主なメーカーはCLAAS、FENDI、KUBOTA、JOHN DEERE、BELARUS、NARDI、FIAT、NEW HOLLAND、FORD等である。

### 4-3 品目・仕様の検討・評価

「ア」国から要請された品目及び仕様の検討結果並びに評価は以下のとおりである。

#### < 肥料 >

##### (1) 硝安 (硝酸アンモニウム) < 1,000トン >

硝酸アンモニウムで中和し、これを濃縮して作られたもので、硝酸態窒素 (NN) とアンモニア態窒素 (AN) を同量ずつ含んでいる。窒素含量は理論値で35.0%であるが、公的規格ではNN及びANそれぞれ16.0%以上とされ、窒素合計32.0～34.4%のものが市販されている。

化学的、生理的に完全に中性であり、土壌を酸性にしない利点があり、また、水にきわめて溶けやすく、速効性であるため欧米では尿素と並んで畑作の基肥及び追肥に広く使用されている。反面、吸湿性が高く、雨水によって流亡しやすい性質もあるので、使用環境、使用条件によっては不利である。

白色の結晶であるが、吸湿、固結しやすいので、市販肥料には固結防止剤を加え、粒状化しているものがある。また、特定条件で爆発性があるため、我が国では消防法で危険物に指定されている。運搬や貯蔵中に火気を近づけないなどの注意が必要である。

本資材の施肥対象作物は小麦、トウモロコシ及び野菜 (自家消費用) である。本資材を使用することにより、「ア」国の土壌に必要とされる窒素、リン酸及びカリのうち、窒素成分を補うことを目的として調達を計画しているものである。表3-3に示した様に要請数量は対象地域における施肥計画から算出する必要量の3%に満たない数量であることから、本肥料を要請数量とより選定する。

#### < 農業機械 >

##### (2) 乗用トラクター (27～37馬力) < 100台 >

##### (3) 乗用トラクター (45～54馬力) < 100台 >

##### (4) 乗用トラクター (66～75馬力) < 100台 >

##### (5) 乗用トラクター (90～104馬力) < 10台 >

用途：4輪トラクターのことで、各種の作業機を搭載、直装等の上、けん引又は駆動して、耕うん、碎土、中耕、防除、収穫、運搬等の農作業全般において幅広く使用される。

分類：分類としては走行形式により、ホイール型 (空気入りゴムタイヤ、ハイラグタイヤ) 及びクローラー型に、また、駆動車輪数により2輪駆動 (後輪のみ) と4輪駆動型 (全車輪) に分類される。

構造：乗用トラクターは、ディーゼルエンジン、動力伝達、操舵 (かじ取り)、制動、油圧、走行、動力取出、作業機装着装置、電装品等で構成されており、動力はエンジンからクラッチを介し、各部装置を経て走行部 (車輪) と後部 (前部、腹部に装備されているものもある) のPTO軸 (動力取出軸) へと伝達される。なお、PTO軸回転は標準回転速度 (540rpm) を含め2～4段変速できるものが多い。作業機装着・昇降装置は油圧式で、ブラウ・ロータリー耕のとき、一定耕深を保つポジションコントロール、けん引負荷の大きさにより耕深を変化させるドラフトコントロール装置が装備されているが、中・小型トラクターではポジションコントロールだけ装備したものが多

い。作業機の装着方式は、ホイール型では2点（ロータリー専用）と3点リンク式があるが、クローラー型は3点リンク式のみである。クローラー型は、操舵のための左右駆動軸に操向クラッチ及びブレーキが装備され、グレーダーやバケットによる土壌の移動・排土等の重作業に適する特徴はあるが、機体重量はホイール型の約2倍程度となる。

仕様・区分：

分類	大きさ（馬力）	作業能率等
ホイール型 （車輪型）	10～150馬力	各種の装着作業機の作業幅と作業速度の設定などにより、作業能率は変わる
クローラー型 （装軌型）	40～200馬力	

本機材は、「ア」国における主要作物である小麦、トウモロコシ、ジャガイモ及び野菜（自家消費用）の増産に直接的に寄与すると考えられる。現在利用されている農業機械は20～30年前に政府が購入した中国製、旧東ドイツ製のものが多い。これらは1992年の経済の自由化とともに農民に払い下げられたが、老朽化が激しく、よって作業効率も非常に悪いという弊害も出ている。農民は個別に農業機械を保有するほどの経済的な余裕は無く、比較的資金があり農業機械の購入が可能な農家が周辺農家に賃耕サービスを行っている。また廉価なことから中古品の流通が多いことも特徴の一つである。農業食糧省の説明によると、「ア」国のトラクターの必要台数は15千～20千台であるので、合計の要請数量310台は充分受け入れ可能な台数である。

「ア」国内でトラクターの製造は行われておらず、100%輸入に頼っている現状において、近代農業の主力とも言えるトラクターは、農業機械化政策には必要不可欠であることから、本機材を要請数量とおり選定する。

(6) ボトムプラウ（360～720mm/×2） < 100台 >

(7) ボトムプラウ（360～1,080mm/×3） < 100台 >

(8) ボトムプラウ（360～1,420mm/×4） < 100台 >

用途：土壌の耕起（反転耕）に使用されるトラクター用作業機の一つで、モルドボードプラウ、シェアプラウとも呼ばれる。

分類：歩行用、乗用トラクター用に区分されるが、その大半は乗用トラクター用であり、歩行用トラクター用には和犁が多く使用されている。分類としては、装着トラクターの大きさに適合する刃幅と犁体数（連数）によるプラウ大きさ区分と、開墾等未耕地に用いられる新墾プラウ、通常の耕地に用いられる再墾プラウ等用途別による区分があるが、これらは犁体の形状により、「れき土」の反転・破碎作用に差をもたせるものである。また、特殊用途のものとして深耕プラウ、混層耕プラウ等があるほか、犁体後方に碎土装置や残稈犁込み用の回転レーキを付属し得る特殊仕様のももある。そのほか一般タイプの回り耕に対し、往復耕を可能とするリバーシブルタイプにも分けることができる。

構造：プラウが直接土壌に食い込み、土を耕起・反転・放てきする犁体（刃板・はつ土板・地側板）、マスト（トラクターへの取付部）、耕幅を調整するクロスシャフト、調整ハンドル等の骨格となるビーム、それにプラウ前方に装着された耕起前にあらかじめ土や雑草等を剪断、プラウの水平抵抗を少なくする役目を果たす円板コールド等で構成されている。

仕様：プラウの大きさは、1犁体当たりの刃幅（単位：インチ）と犁体の数（連数）で表される。

プラウ（刃幅×連数）	適応トラクター（馬力）	概略作業能率（ha/時間）
12"×1連	8～12	装着トラクターの作業速度（km/h：5）×プラウ作業幅（m）×圃場作業効率（70%）÷10
14"×1 16"×1	15～20	
14"×2 16"×1	25～30	
14"×3 16"×2 20"×1	35～40	
14"×4 18"×2 20"×2	50～60	
14"×3 18"×3 20"×3	65～75	
16"×4 16"×6 18"×5	80～130	

本機材は、「ア」国における主要作物である小麦、トウモロコシ、ジャガイモ及び野菜（自家消費用）の増産に直接的に寄与すると考えられる。前述のトラクターに装着する作業機であることから、本機材を要請数量とおり選定する。

(9) ロータリーティラー（～1,500mm） <100台>

(10) ロータリーティラー（～2,200mm） <100台>

用途：土壌の耕起・砕土等に使用されるトラクター用の作業機で、砕土用のロータリーハローと区別してロータリーティラーという。作物の畦間における中耕・除草に使用するロータリーカルチベータやロータリー・ハウ及び深耕を目的とした深耕ロータリー等は、原理的に本機の変形である。

分類：歩行用、乗用トラクターに区分され、装着トラクターの大きさに適合するロータリー作業幅で分類される。また、ロータリー軸の駆動部位置により、センタードライブ式、サイドドライブ式に分類される。

構造：ロータリーは、耕耘爪を配置したロータリー軸、フレーム、動力伝動部、耕耘カバー、尾輪等で構成され、動力はトラクターPTOからドライブシャフトを介し、チェーンかギアによりロータリー軸に伝達される。ロータリー軸の駆動部（ケース）がロータリーの中央にあるものをセンタードライブ式、側方にあるものをサイドドライブ式と言い、前者は、延長軸を取付けることにより耕耘幅を広げられるようにしているものが多い。またロータリー軸には各種の使用目的に対応できる多くの耕耘爪が準備されている。

仕様：

ロータリー作業幅	適応トラクター (馬力)	概略作業能率 (a/hr)
~ 0.8	~ 15	~ 8
1.0 ~	15 ~ 20	~ 10
1.2 ~ 1.4	20 ~ 30	12 ~ 14
1.6 ~ 1.8	30 ~ 50	21 ~ 24
2.0 ~ 2.4	50 ~ 60	28 ~ 33
2.4	60 ~	33 ~

注) 水田耕起を対象とした作業能率である。

本機材は、「ア」国における主要作物である小麦、トウモロコシ、ジャガイモ及び野菜（自家消費用）の増産に直接的に寄与すると考えられる。前述のトラクターに装着する作業機であることから、本機材を要請数量とおり選定する。

(11) ディスクハロー（タンデム式、20”×20） < 100台 >

(12) ディスクハロー（タンデム式、20”×32） < 100台 >

用途：プラウ等で1次耕をした後、2次耕としての碎土整地に使用される乗用トラクター用の作業機である。

分類：形状の違いによって、複列型のオフセット式及びタンデム式と単列型で片方だけに作用するワンウェイ式等に区分される。また、トラクターへの装着方法による3点リンク直装式とヒッチによるけん引式とに分けられるほか、装着トラクターの大きさに適合するディスク径と連数によって数種類の大きさに分類される。

構造：ディスク（円盤）又は刃車、爪車等を軸の周りに装着し、その軸の回転により土壌の碎土整地を行う構造となっている。タンデム式は複列型で前列のディスクは外方に、後列は内方に向き、4個のギャング（ディスクを一つの軸に数枚セットし、フレームで支えたもの）は、それぞれ対称的に配置されており、前列のディスクで外側に反転された土塊は、後列ディスクで内側に再度反転される仕組み、オフセット式は前方と後方のギャングがV字型に配列され、ディスクの方向は前列と後列が反対になっている仕組み、また、ワンウェイ式は単列に配置されたギャングにより、片方だけ作用する仕組みとなっている。なお、ギャング角度等は、それぞれの作業内容に応じ、レバー等による調整を可能としている。

仕様：ディスクハローの大きさ、ディスク直径（単位：インチ）とディスク数（枚数）によって表される。

ディスクハロー (直径×枚数)	適応トラクター (馬力)	概略作業能率 (a/hr)
16”×16	30前後	70 ~ 85 (作用幅：1.7 ~ 2.1m)
18”×16		
18”×20 ~ 24	40 ~ 50	
20”×20 ~ 24		



18"×28～32	60～80	85～95（作用幅：2.1m～）
20"×24～28		
20"×28～36	90～	95～

本機材は、「ア」国における主要作物である小麦、トウモロコシ、ジャガイモ及び野菜（自家消費用）の増産に直接的に寄与すると考えられる。前述のトラクターに装着する作業機であることから、本機材を要請数量とおり選定する。

（13） 乗用トラクター用灌漑ポンプ（45馬力以上） <40台>

用途：田、畑への灌漑を目的として使用される揚水ポンプである。

分類：使用目的や使用場所などにより多種多様であるが、一般的にはターボ形、容積形及び特殊形の3種に大別され、このうち灌漑用に多く使用されているのは、ケーシング内で回転する羽根車の遠心力で揚水するターボ形遠心ポンプに属する渦巻ポンプである。分類としては、必要な吸水・吐水量による大きさ区分と駆動方式によるエンジンとモーターの区分、また使用する水質によって清水・濁水・塩水用にも区分される。

構造：6～8枚の羽根を有する羽根車とこれを囲むケーシング、吸込・吐出管等から成り、羽根車の回転により生じる遠心力によって水に圧力エネルギーを与え、吸込管から吸い上げた水を吐出管から吐水するものである。この原理から遠心ポンプとも呼ばれている。また、案内羽根の有無によりポリュートポンプとタービンポンプとに分けられ、羽根車の外側に固定された案内羽根を持つタービンポンプは揚程を高くできる。そして羽根車とケーシングの組み合わせ個数を増やし、多段式にすると高揚程ポンプとなる。しかし、水源の水面からポンプまでの垂直距離（ポンプの吸込み実揚程）は6～7m以下である。始動時には吸込管とケーシングを水で満たす「よび水操作」を必要とするが、自吸水ポンプと呼ばれるものは、この操作が不要で、最初だけケーシングに注入すれば、空気と水の分離装置により揚水ができ、始動・停止を繰り返す場所では便利である。

本機材は、「ア」国における主要作物である小麦、トウモロコシ、ジャガイモ及び野菜（自家消費用）の増産に直接的に寄与すると考えられる。前述のトラクターに装着する作業機であることから、本機材を要請数量とおり選定する。

（14） 乗用トラクター用トレーラー（3トン） <20台>

用途：トラクターでけん引する運搬用作業機であり、種子、肥料、農業機械等の農業資機材、農産物等の運搬に利用する。

分類：歩行用、乗用トラクター用に区分され、トレーラー自体の車輪数により2輪と4輪に分類される。また荷台が固定式のものと後部が下がるリアダンプ式に、さらにダンプ機構により重力式と油圧式に分けられる。

構造：歩行用トラクター用は、2輪式で車輪とヒッチの2点で総重量を支持するため、フレームとけん引間が堅牢な一体構造となっており、ブレーキは車軸が付けられている。トレーラーの荷台は長さ135～212cm、幅85～102cmあり、積載量は500kg前後が普通である。乗用トラクター用は、トラク

ターの固定ヒッチ、スイングドローバー（又はオートヒッチ型もある）等によりけん引される。特にオートヒッチは運転者が運転席から油圧又は手動により連結することができ、使用上便利である。乗用トラクター用の基本構造は歩行用と同じであるが、1軸2輪式のほか、1軸4輪式や2軸4輪式のものがあり、最大積載量は500～5,000kgと広範囲である。特に4輪式は積荷の重量や位置が変わっても荷台の安定が失われず、ヒッチにかかる垂直荷重が積載量によって変わらないのでトラクターへの装着は容易である。また、特殊型として、トラクターのけん引力の増加をはかる3点リンク利用によりプレッシャーコントロールヒッチやトレーラーをけん引して降板するときなどの安全性を考慮しての慣性ブレーキを装備したものもある。油圧利用によるダンプ機構では、後方だけにダンプする後方ダンプ式（最も多く使われている）、側方ダンプ、左右・後方にダンプする3方向ダンプ式及び荷台を水平状態で一定の高さまで持ち上げてから側方又は後方にダンプするリフトダンプ式がある。

仕様・区分：

区分	積載重量（kg）	適応トラクター（馬力）
歩行トラクター用	250～（車輪数：2輪）	3～8
乗用トラクター用	1,000～2,000（2輪）	30クラス
	2,000～3,000（4輪）	40～50
	3,000～4,000（4輪）	60～80

本機材は、「ア」国における主要作物である小麦、トウモロコシ、ジャガイモ及び野菜（自家消費用）の増産に間接的に寄与すると考えられる。前述のトラクターに装着する作業機であることから、本機材を要請数量とおり選定する。

（15） コンバイン・ハーベスター（100馬力以上） <7台>

用途：稲、麦類、豆類、トウモロコシ、ソルガム等の広範囲の作物に利用できる収穫機であり、広い圃場での作業には効率的である。

分類：大きさは主として刈幅により区分されるほか、脱穀方式において作物刈程が扱き胴と直角に流れる直流式、扱き胴と平行に流れる軸流式とに分類される。一般的な普通型コンバインは直流式で、軸流式は日本で開発されたスクリューロータ（扱き胴）式の汎用型コンバインと呼ばれているものである。また、走行部形式により、ホイールタイプ、セミクローラタイプ及びクローラタイプにも分類される。

構造：大別すると頭部に当たる前処理部、刈取・搬送・供給部、脱穀・選別部、操縦装置、走行部等に分けられる。作物（穀稈）は、前処理部のデバイダーとリールによって分草、引起し寄せられて往復動刃（レシプロ）により株元から切断される。切断された穀稈はフロントコンベア、プロットホームオーガー、コンベア等により脱穀部へ送りこまれ、扱き胴やピーターで脱穀される。脱穀された穀粒はストローラック、グレンシーブやファンによって篩・風選別され、穀粒はタンクに貯蔵、わら類は機外に放出される。なお、普通型コンバインは自脱型コンバインと異なり、袋詰め機能は備えていない。

仕様：概略能率は水稻収穫時であり、麦類の収穫ではこの数値の約1.2倍となる。

刈幅 (m)	エンジン馬力	能率 ( a/hr )
2～3	65～75	10～25
3～4	85～100	20～30
4～5	100～140	25～40
5～	140～	50～

本機材は、「ア」国における主要作物である小麦、トウモロコシ、ジャガイモ及び野菜（自家消費用）の増産に直接的に寄与すると考えられる。しかしながら当該機材については、平成11年度に調達された同機材を完売するまでに時間を要しており、平成12年度では同機材の選定を見合わせた経緯がある。平成11年度調達分は現在全て完売しているが、販売が遅れた理由として、農民の財政力に対して販売価格が高すぎたことが考えられる。よって、最終的な調達数量決定に際しては、「ア」国内の民間市場の価格などを調査し、販売計画が立てられることを確認した後、適切な数量を検討する必要がある。

また、調達適格国に関してはDAC及び7カ国（トルコ、メキシコ、ポーランド、ハンガリー、韓国、チェコ及びアイスランド）となっているが、機械的に高度なものであるため、トラクター同様DAC諸国のみに変更する。

#### 4-4 選定資機材案

以上の検討の結果、選定資機材及び想定調達先国を表3-6にまとめる。

表3-6 選定資機材案

項目	要請 No.	選定品目(日本語)	選定品目(英語)	選定数量	単位	優先順位	想定調達先
肥料							
	1	硝安(窒素33.5%)	Ammonium Nitrate (N33.5%)	1,000	t	2	OECD
農機							
	1	乗用トラクター(4WD, 27~37HP)	4-Wheel Tractor (4WD, 27~37HP)	100	台	2	DAC
	2	乗用トラクター(4WD, 45~54HP)	4-Wheel Tractor (4WD, 45~54HP)	100	台	1	DAC
	3	乗用トラクター(4WD, 66~75HP)	4-Wheel Tractor (4WD, 66~75HP)	100	台	1	DAC
	4	乗用トラクター(4WD, 90~104HP)	4-Wheel Tractor (4WD, 90~104HP)	10	台	1	DAC
	5	ボトムプラウ(360~720mm/×2)	Bottom Plow (360~720mm/×2)	100	台	1	OECD
	6	ボトムプラウ(360~1,080mm/×3)	Bottom Plow (360~1,080mm/×3)	100	台	1	OECD
	7	ボトムプラウ(360~1,420mm/×4)	Bottom Plow (360~1,420mm/×4)	100	台	1	OECD
	8	ロータリーティラー(~1,500mm)	Rotary Tiller(~1,500mm)	100	台	1	OECD
	9	ロータリーティラー(~2,200mm)	Rotary Tiller(~2,200mm)	100	台	1	OECD
	10	ディスクハロー(タンデムタイプ、20"×20)	Disc Harrow(Tandem Type, 20"×20)	100	台	1	OECD
	11	ディスクハロー(タンデムタイプ、20"×32)	Disc Harrow(Tandem Type, 20"×32)	100	台	1	OECD
	12	乗用トラクター用灌漑ポンプ(45HP以上)	Irrigation Pump for Tractor (45HP or more)	40	台	2	OECD
	13	乗用トラクター用トレー(3t)	Trailer for 4 Wheel Tractor (3tons)	20	台	2	OECD
	14	コンバイン・ハーベスター(100HP以上)	Combine Harvester (100HP or more)	7	台	2	DAC

ただし、2000年よりスロバキアがOECDに加入したため計30カ国である。

## 5. 概算事業費

概算事業費は、表3-7のとおりである。

(単位：千円)

資機材費			調達監理費	合計
肥料	農業機械	小計	16,849	459,738
114,960	327,929	442,889		

表3-7 概算事業費内訳

概算事業費合計 459,738千円